

第2回 横浜市中スポーツセンター指定管理者選定委員会 会議録	
開催日時	令和8年7月31日(金)午後1時30分～午後2時50分
開催場所	中区役所本館6階 602会議室
出席者	石黒委員、織茂委員、金原委員、近藤委員、山本委員(計5人)
欠席者	なし
開催形態	公開。ただし、一部は委員会の決定により非公開(傍聴者0人)
議題	1 会議の公開・非公開について 2 指定候補者の選定について
決定事項	1 会議の公開・非公開について 応募団体の面接審査は公開、審議は非公開とすることを決定 2 指定候補者の選定について 横浜市中スポーツセンターの指定候補者を公益財団法人 横浜市スポーツ協会とすることを決定
議 事	1 面接審査 【応募団体】公益財団法人 横浜市スポーツ協会(現指定管理者) ア プレゼンテーション(10分) 応募団体から、団体概要・事業計画等について説明 イ 質疑応答(20分) (委員) 地域に根差した活動とは具体的にどのようなものか。 (団体) この施設を会場として、地域の商店会や地域のスポーツ団体との連携で保育園のお子さんを招くイベントが実施したり、地域のシニアクラブの運動会を実施したりなどの事例がある。 (委員) 金曜日の夜間は開館時間を延長しているが、近隣からの苦情はないか。 (団体) 特にない。日中に大会等が開催される場合、マイクの音量等に対して苦情があり、主催者に音量を下げるよう伝えることはある。 (委員) 収益増加の計画を5年間で設定しているが、5年間の理由は何か。 (団体) 指定管理期間が5年間であるため。 (委員) 5年間で600万円の収入増加について、具体的な方策を考えているのか。 (団体) 広告収入、民間の教室プログラム導入による利用者増加、トレーニングルームでの利用者増加等を見込んでいる。 (委員) 5年間の総利用者数目標となっている121万人の算定根拠は何か。 (団体) コロナ禍前の利用者数が年間26万人。現在は21万人のため、毎年10%ずつ増加することで121万人になると考えている。 (委員) コロナ禍前と利用者層は変わっているのではないか。 (団体) 社会情勢は変わっているが、運動して健康になろうという考え方は変わっていないので、そこへのアプローチを考えていく必要がある。変わった点として、具体的には女性の社会進出によって、子育て世代の教室参加率が低くなってきていることがある。高齢者も、昔のようにスポーツセンターにスポーツをしに来るという人が少なくなっている。 子育て世代に対しては、イベントや託児サービスなどで運動できる機会をつくり、ニーズを発掘したうえで、教室化する展開を考えている。高齢者に対しては、地域に対してアウトリーチできっかけを作り、運動習慣や、スポーツセンターに行ってみようという機運を高めて、来てくれる仕組みをつくりたい。 (委員) 濱ともカードや社会参加ポイントアプリの記載があるが、アプリに抵抗がある方もいるかもしれないので、どなたでも利用できるようにしてほしい。

	(団体) 横浜市の施策に協力しながら対応していきたい。 (委員) 子ども達を集めて1階の研修室で宿題ができるようにする話があったが、机や椅子等の備品が不足しているように感じるので、その点も気を付けてほしい。 (団体) 50 人程度を想定しており、机、椅子は他のフロアにもあるので、使ってもらえるようにしたい。 (委員) いろいろな大会が開催されていると思うが、近隣住民とのコミュニケーションについて、問題は生じていないか。 (団体) 過去に騒音や喫煙についてご意見をいただいた。騒音については、天窓が開いていたことが原因で早急に対応した。喫煙については、個別に注意して対応した。今後も貼り紙を掲示する等して近隣迷惑にならないよう対策をしていく。 (委員) 喫煙が出来ないので利用しないという話はないか。 (団体) 聞いたことはない。 (委員) 今後5年間で特に力を入れていくべき点は何か。 (団体) アウトリーチ活動に力を入れていきたい。高齢者はスポーツセンターまで足を運ぶことが難しい。地域に出向いて、運動に関する知識をお伝えしながら、スポーツセンターも知っていただくことに力を入れたい。 (委員) 防災に関する取組でアピールできることはあるか。 (団体) 海が近いこともあり、津波の危険がある時には、近隣の病院や託児所から避難場所とする相談を受けて協力している事例があり、地域の防災としてできることをやっていきたい。 2 応募団体の欠格事項の該当有無及び財務状況について報告 事務局から各応募団体について、関係機関への照会を行い「市税等を滞納していないこと」や「暴力団又は暴力団経営支配法人等ではないこと」の確認や、そのほかの欠格事由にも該当しないことの確認を行っている旨を報告。また、税理士の委員から各応募団体の財務状況について、今後5年間の指定管理期間における施設の管理運営に支障はないことが報告された。 3 指定候補者の選定 各委員による評点を集計した結果、応募団体は最低基準点(加減点項目を除く評価基準項目の合計満点の6割以上)を満たしており、横浜市中スポーツセンターの指定候補者が次のとおり決定された。 公益財団法人 横浜市スポーツ協会 (得点:436 点／満点 625 点) 4 その他 (委員長) 議事録及び区長へ提出する報告書の作成は事務局で行い、委員長に確認した上で確定ということよろしいか。 (委員) 異議なし
資 料 ・ 特記事項	1 資料 なし 2 特記事項 なし